

千葉大学医学部附属病院で腸管切除をされた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年12月16日
救急科

救急科集中治療部では、「重症急性膵炎における claudin2 の機能解析と腸管透過性の制御による治療への応用」に関する研究を行っており、以下に示す方の試料や診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2013年1月1日～2023年12月31日の間に重症急性膵炎や大腸がん、アミロイドーシス、ムコール症などで腸管切除を要した方

1. 研究課題名

「重症急性膵炎における claudin2 の機能解析と腸管透過性の制御による治療への応用」

2. 研究期間

2024年承認日～2029年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

急性膵炎は全身へ炎症が波及して色々な臓器を機能不全に陥らせる死亡率の高い疾患です。細菌の感染が原因で死亡することが増えてきますが、この時に原因となる細菌は腸管に由来するものが多いとされ、腸内細菌が腸管外に移動し感染を引き起こしていると考えられています。

そこで我々は、腸管粘膜で細胞同士をくっつけている claudin2 というタンパク質に注目して、急性膵炎の時に起きる腸管透過性亢進と claudin2 の関わりを研究し、死亡率低下を目指した新規治療法の開発を目指します。

本研究においては、以下4で記載された試料・情報を利用します。氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究 ID に置き換えて、千葉大学救急科集中治療部の研究室で解析がおこなわれます。氏名等と研究 ID との対応表は外部には提供されません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

手術や病理解剖時に採取された腸管

診療録に記載されている年齢、身長、体重、生活歴(飲酒・喫煙など)、家族歴、既往歴、職業歴、併用薬、生化学検査、血液学的検査などの臨床検査結果、重症急性膵炎の重症度分類

5. 研究組織(試料・情報を利用する者の範囲)

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：救急科・集中治療部 教授 中田孝明

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた試料・情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院救急科集中治療部において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に試料・情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院(病院長：大鳥精司)

救急科・集中治療部 特任助教 石田茂誠

043(222)7171 内線 6365